

Newsletter

THE ACADEMY OF CLINICAL DENTISTRY

91

2023.9.8



2023 年度 新体制スタート

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 役員一覧

2023 年度 支部学術大会

支部委員長挨拶

第22回 咬合フォーラム 会場開催
2023.10.15. (Sun)

参加登録のご案内
プログラム／演者・演題・抄録



かめるをたしかめる
特定非営利活動法人
日本顎咬合学会

2023 年度 新体制スタート

6月18日（日）第41回日本顎咬合学会学術大会後に開催された総会において、貞光謙一郎理事長の就任が承認され新年度の活動が始まりました。それを受け、7月25日（火）に、新体制人事の発表と新役員辞令交付式が行われました。7月26日（水）には、新年度第一回常任理事会、賛助会員企業との懇談会、懇親会が開催され、第41回学術大会にご協力いただいた賛助会員から、今大会を振り返っての反省点、また、次回大会成功へ向けての建設的なご意見をいただき、懇親会でも活発な交流が行われました。



第41回日本顎咬合学会学術大会・総会
貞光謙一郎理事長（左）、黒岩昭弘前理事長（右）



新役員辞令交付式
金沢紘史次期理事長（左）、貞光謙一郎理事長（右）

企業懇談会



株式会社 GC 幾島啓介氏
（理事：中尾潔貴氏 代理）





特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 役員一覧

理事長	貞光 謙一郎				
次期理事長	金沢 紘史				
前理事長	黒岩 昭弘				
副理事長	松崎 浩成	関野 愉	音琴 淳一		
専務理事	岸本 英之				
常任理事	平井 順	倉富 覚、	田中 憲一	菅野 詩子	須呂 剛士
	櫻井 健次	安光 崇洋	鍵和田 優佳里	石川 忠	勝部 義明
	春藤 憲男	長阪 信昌	濱 克弥	前川 泰一	権 暁成
	佐藤 勝史	佐野 哲也	島田 卓也	谷尾 和正	中山 直樹
	山内 真人				
理事	虻江 勝	鵜飼 誠	河原 太郎	小林 明子	小林 隆
	小林 友貴	小林 英史	中山 隆司	樋口 惣	藤井 元宏
	山下 恒彦	太田 祥一	菅崎 紳	谷口 昭博	谷本 幸司
	吉木 雄一朗	渡邊 祐康	上田 秀朗	宇根岡 大典	江本 寛
	太田 拓哉	川内 大輔	北原 信也	坂田 晋也	高田 浩行
	田ヶ原 昭弘	武井 賢郎	千葉 豊和	羽田 詩子	松木 良介
	松延 允資	吉田 拓志	中尾 潔貴		
監事	河津 寛	富野 晃	渡辺 隆史	俵木 勉	
顧問	菅野 博康	河原 英雄	小林 和一	岩田 健男	山地 良子
	鈴木 尚	南 清和	林 崇民		

第
22回

咬合フォーラム

2023.10.15 (Sun)
9:50 ~ 16:30 (受付 9:30)

咬合治療の原点回帰 2

～生理的な下顎位（水平的・垂直的）を診断する～

■ 参加登録について

事前参加登録締切：2023年9月29日（金） 参加費支払い期限：10月6日（金）

参加登録フォームへは下記 URL よりアクセスしてください。

URL : <https://ago.ac/events-archive/kougou-forum2023/>

ご決済方法：クレジット決済・コンビニ決済

○コンビニ決済登録 参加登録締切日：2023年9月29日（金）

※決済期限：2022年10月6日（金） 期限を過ぎると、お支払用紙は無効になります。

○クレジット決済登録 参加登録締切日：2023年9月29日（金）

※注意事項※

○新規ご入会の方は、2023年9月28日（木）までにご入会お手続きをお済ませください。

当日受付：2023年10月15日（日）9:30～

参加費お支払い方法：現金精算のみ

※非会員の臨床研修医・学生は在籍証明書のコピー、学生証などをご提示下さい。



■ 認定単位取得

指導・認定資格取得者が対象 10単位

■ 参加費

会員	歯科医師	¥5,000
	歯科技工士	¥1,000
	歯科衛生士	
	歯科助手	
	準会員	無料
非会員	歯科医師	¥11,000 (税込)
	歯科技工士	
	歯科衛生士	
	歯科助手	
	臨床研修医・学生	¥1,100 (税込)

※ご入金後はキャンセル・ご返金はできませんのでご注意ください。

※非会員の参加費は消費税が加算されます。あらかじめご了承ください。
なお、会員の参加費は消費税の課税仕入れには該当しません（不課税）。

■ アクセス

オービックホール

〒541-0046

大阪府大阪市中央区平野町4丁目2-3

オービック御堂筋ビル 2F

TEL. 06-6228-6500 (平日 9:00 ~ 19:00)



Program

2023.10.15 (日) 9:50 ~ 16:30

座長



難波 鎌久
伴歯科診療所



石川 忠
石川歯科医院

生理的な水平的咬合位の診かた、求め方

講演① 10:00 ~ 11:30 (11:30 ~ 11:40 質疑 10分)



佐々木 啓一
公立大学法人
宮城大学 学長
国立大学法人
東北大学 参与

補綴歯科治療ではほとんどの場合、上下顎歯の接触、すなわち咬合接触に介入します。その際、歯の接触が患者固有の下顎運動を障害してはならないし、噛み込んだ終末では上下顎歯の接触が形態的に安定し、顎関節や靭帯、咀嚼筋も構造的に安定し、かつそれぞれが機能的、生体力学的に調和していることが求められます。ところで、下顎位とは頭蓋・上顎に対する下顎の位置を示します。下顎の姿勢とも呼ばれます。下顎の運動範囲内の全ての位置が下顎位であり、生理的範囲であれば、どの下顎位も生理的です。咬合位とは上下顎の歯が接触し、口腔をOcclude（閉塞）した時の下顎位です。ポッセルトバナナの上面いずれの位置も咬合位です。

本フォーラムの論点は、上述した咀嚼等で噛み込む際の終末である咬合位は、いかなる下顎位であるか、という点でしょう。面倒くさい言い方をしていますが、「咬合」に関する用語は難しく、時として混乱を生じさせます。

そして生体は移ろいやすく、顎関節の状態、歯の接触により決定される咬合位も障害や加齢、また習癖や姿勢により容易に変化します。このようななか、健全に機能する終末位を如何に見出すか？ それには顎関節の構造はもちろんのこと、頭蓋、体躯を含めた構造体における下顎位、下顎の姿勢位である下顎安静位、咀嚼筋の内部構造と機能を加味した顎口腔系のバイオメカニクスの理解が必要です。講演ではいくつかのデータを示しながら解説します。

咬合高径および咬合平面を変更する必要性の判断および臨床手技

講演② 11:40 ~ 13:10 (13:10 ~ 13:20 質疑 10分)



和田 淳一郎
東京医科歯科大学
大学院 助教

補綴治療の中でも、全顎的な咬合状態の改善が必要な症例では、治療に伴い咬合高径が変更されることがある。咬合高径の変更は、原則として、適正な咬合高径への「是正」であり、術前の咬合高径の不適切さの検出、個々の患者にとっての適正な咬合高径の評価の上で実施される。本セミナーでは、まず、咬合高径の評価法、咬合高径の変更に踏み切る根拠となるべき事項を整理する。その上で、下顎位設定の基準を、中心位（顎頭位）、タッピングポイント（顎運動）、咬頭嵌合位（咬合位）に分け、いくつかの症例を供覧しながら、咬合高径変更の臨床的ポイントを考えてみたい。また、咬合高径の変更を

余儀なくされる全顎的な補綴治療を必要とする患者では、歯の挺出・傾斜や不適切な歯冠修復物、過度な咬耗などによる咬合平面の乱れが散見される。咬合平面の乱れは、審美性への悪影響や、下顎運動の制限といった問題を引き起こす可能性があり、しばしば咬合平面の是正が試みられる。一方で、咬合平面を是正しなければ、介入の必要な歯数を抑えられ、治療による患者の負担（歯列矯正による経済的・時間的負担、健全歯質切削などの侵襲、など）を減らすことが出来る場合が多く、咬合平面を是正する判断も、咬合高径の変更と同様、慎重に行われるべきである。本セミナーの後半では、「咬合平面の是正は必須ではない」という観点から、咬合平面是正を行う判断基準について考察したい。

下顎位を咬合から離れて考える

講演③ 14:20 ~ 15:50 (15:50 ~ 16:00 質疑 10分)



市川 哲雄
国立大学法人
徳島大学 大学院
教授

昨年の本フォーラムにおいて、「全部床義歯に与える咬合」について話をさせていただいた。その中で、中野が定義した咬合の5要素を示し、その一つ「咬頭嵌合位の顎位が正しいこと」、つまり、失われた垂直的、水平的な顎間関係の構築、あるいは現在の咬頭嵌合位が適切な下顎位にあるかどうかを診断することは咬合の構築のスタートであることを述べ、その実際の咬合採得法、垂直的、水平的な顎間関係の記録法については舌のことも考える必要があることだけを述べた。今回はその部分を詳しく述べる予定である。

無歯顎補綴治療においては、垂直的、水平的な顎間関係の記録法、つまり中心咬合位の設定法はこれまで多くの術式が報告されており、下顎頭位や閉口筋から言及されることが多い。当然、咬合の観点から言及されてきた。しかし、口腔機能を考えてみると、しゃべるときにも、嚥下するときにも歯と歯はほとんど接触しないし、咬合力を発揮する時間は一日の中でわずかである。そこで、発音位、嚥下位、安静位という言葉があるように、この垂直的、水平的顎間関係を少し咬合から離れて考え、生理的な下顎位についてお話できればと思っている。

ディスカッション 16:00 ~ 16:30

2023 年度 支部学術大会

はじめまして。支部委員長を拝命しました春藤憲男と申します。どうぞよろしくお願ひします。

我が日本顎咬合学会は、常に「支部の活性化」をテーマにしており、先輩方から常に大変な圧力がかけられております（笑）。

さて、「支部の活性化」とはどういうことを言うのでしょうか？ 当然ながら、今回の支部学術大会の成功が大きなカギになります。では、大会の成功とは？ 一つは、参加した皆さんが特別講演や会員発表から得るものも多く満足できる、時には感動できる、今年の WBC 優勝のようなもの（それはさすがに無理・・・か？）であり、「来年も参加したいなあ」と感じ、結果的に参加人数がどんどん増えていくというもの。もう一つは、皆さんが傍観者にとどまらず、積極的に参加、発言する、時には演者に噛みつくくらいの勢いで疑問、意見をぶつけていく。とんでもないとんちんかんな質問も大いに盛り上がるものです。これもまた「支部大会の成功」と言えるのではないのでしょうか。「笑われよう」のたくましい精神で、一緒に大会を盛り上げていきましょう！ よろしくお願ひいたします。



支部委員長
春藤 憲男



2023 年度支部学術大会に関する詳細は、学会 HP「イベント」ページにて各支部大会情報を掲載しております。

Informations

次回「第 42 回日本顎咬合学会学術大会・総会」のお知らせ

踏襲から発展 ～学術と臨床の融合～

2024 年 6 月 8 日（土）／ 9 日（日）

東京国際フォーラム

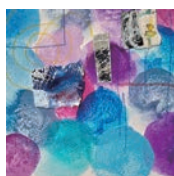
大会長：貞光謙一郎

WEB 会員システムに関する大切なお知らせ

2022 年より新しい会員システムを導入しました。今後は、住所・連絡先などの登録情報の確認・修正、認定資格・単位取得状況確認だけでなく、**学術大会等の研修会の申込を WEB 上のマイページにて行っていただけます。**大会の参加登録にはマイページへのログインが必要となります。必ず一度ログインし、情報の更新にご協力いただけますようよろしくお願いいたします。



QRコードから会員ログインページにアクセスが可能です。



表紙絵 ミウラナオコ

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会 News Letter 91

発行日：2023 年 9 月 8 日

発行者：貞光謙一郎

特定非営利活動法人 日本顎咬合学会

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-8-2 山京半蔵門パレス 201

TEL：03-6683-2069 FAX：03-6691-0261 E-mail：nichigaku@ago.ac